



忍川の治水機能の向上及び 内水対策事業について

小林 修(令和研究会)

問 浸水対策重点地域緊急事業の調節池、河道拡幅工事に伴う、市道、水路等の廃止、存続、付け替えの協議は。

答 埼玉県との協議を経て実施されており、調節池地内の市道認定の廃止については、来年の3月議会において実施し、河道拡幅による市道、水路の存続及び付け替えについては、現在、協議中である。

問 大雨等により冠水する警察署、消防署が位置する緊急輸送道路の南大通り線の内水対策の実施は。

答 災害時において非常に重要な路線であると認識しているが、忍川と密接に関係しているため、埼玉県において実施している浸水対策の効果を含め、適切に対応する。

問 国において特定河川として指定された、忍川、元荒川、星川、武蔵水路の市の対応は。

答 国県及び関係市町と連携し、法の周知、雨水貯留管など流出抑制対策を実施する。

【その他の主な質問】

○多面的機能発揮促進事業

○下長野用水路改良事業



水城公園東側園地再整備について 市内学校教育現場について

駒見 行彦(令和研究会)

問 水城公園東側園地再整備事業の概要及び進捗について。

答 これまであおいの池の護岸工事や東側入口のしゅんせつ工事などを実施した。東側入口が整備されたことで行田・蓮田線からの出入りが可能となり、公園の利便性が大きく向上した。本年度は東側園地内に新たな駐車場の整備等を予定している。

問 教育現場での働き方改革取組後の現状について。

答 全体的に時間外在校等時間は減少しているが、突発的な指導や保護者との教育相談等に時間を費やしている。中学校においては、部活動指導による時間外勤務も顕著であり、こうした時間を縮減することが今後の課題となっている。

問 スクールロイヤー制度の導入について。

答 制度を導入することで早期解決、教職員の負担軽減が期待できるが、導入については本市における問題事案の内容や発生件数等を見ながら研究してまいりたい。



市とウエルシア薬局株式会社の 連携による移動販売について

小林 淳一(令和研究会)

問 移動販売の実施経緯と実績について。

答 小売店減少などによる買物環境の変化や高齢化に伴う高齢者の買物課題解決。

また全国的にも地域のつながりの希薄化が顕著となる中で、地域コミュニティの活性化につなげたいという考え。

これをウエルシア薬局が共感してくださり、全国初の地域共生型・多世代交流型の移動販売を開始することができた。

実績としては、週5日、市内45箇所での販売。4月末までの利用者は4494人、週平均240人である。

問 移動販売の将来計画について。

答 販売場所の追加や変更要望に応じて、8月から新ルート運行予定。今後の運行状況と販売体制を考慮し、10箇所から15箇所程度は増やしたい。

【その他の主な質問】

○子どもたちが安全で安心に通える通学路について

○通学路変更が生じた場合の対応について